

2024年度「教員アンケート」結果

【ABC評価】 A：3.4以上 B：3.4未満～2.8以上 C：2.8未満

【4点評価】 4点：できている 3点：どちらかといえばできている 2点：どちらかといえばできていない 1点：できていない

		0	1	2	3	4	総合評価	0	1	2	3	4		
授業改善の達成度	専門知識・技能に自信を持った指導		3.2				B						3.2	B 1 自らの専門知識・技能に自信をもって指導している
	授業の学習規律が成立している		3.7				A						3.8	A 2 チャイムとともに授業を開始している
													3.7	A 3 始礼、終礼をきちんと指導している
													3.5	A 4 自分（教師）の指示に、しっかりと生徒が反応した指導ができている
	学習環境が整えられてる		3.3				B						3.3	B 5 常に掃除が行き届くよう指導するとともに、率先している
													3.3	B 6 教材、教具、ICT機器等を常に整理整頓している
													3.4	A 7 掲示や教材・教具の配慮等を工夫している
	ねらいにそった指導と評価を行っている		3.0				B						3.4	A 8 本時のねらいを明確にした授業を行っている
													2.9	B 9 ねらいが達成できたかを意図的・計画的に評価している
													3.1	B 10 生徒に達成感を実感させ、達成度を自己評価できるよう工夫している
													2.8	B 11 「協同的探究学習」など主体的・対話的で深い学びを意識した授業を取り入れている
	わかる授業をめざし、創意工夫した授業を行っている		3.1				B						2.9	B 12 ICTを有効活用した授業を行っている
													3.2	B 13 計画的、意図的な発問・指示を適切に行っている
													3.3	B 14 授業における板書を大切にし、構造的に整理する（創る）ができている
													3.1	B 15 道徳科による「対話的学び」を理解し、授業構想を立てている
	生徒理解に基づく指導を心掛けている		3.5				A						3.5	A 16 生徒の取組み方や習熟の程度に応じて、ほめたり励ましたりしている
													3.6	A 17 生徒一人一人の質問に丁寧に対応している
													3.4	A 18 学習内容の理解に応じた指導を行っている
学校運営の達成度	生徒を大切にした生徒指導ができている		3.2				B						3.1	B 19 不登校の未然防止策の目的を理解し、機を失わず、継続した取組を行っている
													3.3	B 20 いじめの定義と発生の仕組みを理解し、いじめの未然防止に全力を尽くしている
													3.1	B 21 生徒会活動や行事、学級経営において生徒の主体性を伸ばす教育活動を行っている
	情報発信		2.9				B						2.9	B 22 保護者や地域の方への積極的な情報発信を行い、相互理解に努めている
	学校安全		3.1				B						3.1	B 23 学校安全のリスクマネジメントのため、安全管理・安全教育を普段から行っている
	メタ認知を心掛け、資質向上に努めている		3.2				B						3.1	B 24 校訓と学校教育目標を基盤とした学年経営、学級経営、教科指導、生徒理解、生徒指導を行っている
													3.8	A 25 法令《道路交通法、体罰、個人情報、金品管理、不適切な行動・発言、人権、県条例（セクハラ、学校禁煙）》を遵守している
													3.6	A 26 保護者や地域から誤解を受けないような服装、身だしなみ、行動、接遇能力の向上に努めている
													3.1	B 27 前例踏襲に縛られず、生徒のために創造的な取組を生み出すことができる
													3.2	B 28 誰とも相互利益を目指した良好なコミュニケーションをとることができる
													3.0	B 29 PDCAサイクルの中で、目的と目標、手段を吟味し、たゆまぬ改善活動に努めている
													2.9	B 30 業務改善や勤務時間の適正化を意識している